

温室効果ガス排出量検証報告書

クミアイ化学工業株式会社 御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、クミアイ化学工業株式会社が作成した「2024 年度 GHG 排出量算定シート」(以下、「算定報告書」という。))が、同社により作成された「クミアイ化学 算定ルール」(以下、「算定ルール」という。))に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2024 年度とは、2023 年 11 月 1 日から 2024 年 10 月 31 日までの期間をいう。

検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社の 2024 年度の温室効果ガス(以下、「GHG」という。))排出量算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は Scope1,2(ロケーション基準及びマーケット基準)の CO₂、CH₄ 及び N₂O 排出量、Scope3 の 10 カテゴリ(カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7,9,12,13)の GHG 排出量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量における 5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、クミアイ化学工業株式会社及びグループ会社 計 7 社(国内生産関連 11 拠点、非生産関連 48 拠点)である。

検証では、現地検証に先立って算定ルールの確認のために統括機能検証を実施した。続いて、Scope1,2 の GHG 排出量についてはサンプリングにより国内 3 拠点にて現地検証を実施した。現地検証では、各拠点における算定対象範囲の確認、排出源及びモニタリングポイントの確認、算定集計体制の確認、GHG 排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

Scope3 の GHG 排出量に関する検証では、サンプリングにより国内 2 社にて、算定ルールの確認、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定・集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の 2024 年度の GHG 排出量について、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の作成責任はクミアイ化学工業株式会社にあり、GHG 排出量の検証の結論に関する責任は当機構にある。クミアイ化学工業株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純男

